

凡友



第47号 大阪産業大学校友会報



もくじ

校友会支部一覧……………	3
「凡友」旅に出る……………	4
京都高速鉄道トンネル工事……………	5
支部のページ……………	6
校友の活躍ぶり拝見……………	8
校友のひろば……………	10
地区支部長会、記念校友名簿発行……………	12
学園だより……………	13
私たちががんばりました……………	15
スイートカップル……………	16
校友会活動報告、平成5年度決算……………	18
平成6年度総会・パーティー案内……………	19

支部総会に参加し
親睦を深めましょう



校友のみなさん、左の支部一覧表をご覧下さい。全国に地域、職域を合わせて27の支部があり、活動しています。

1年に1回か2年に1回の割で開催している支部総会では、家族ぐるみで楽しめるソフトボール大会を開いたり、豪華な景品が当たる福引大会やビンゴゲーム、クイズ、バス旅行やら施設の見学会など、趣向をこらして和やかに行われています。

まだ、いちども参加されたことがない校友のみなさん、支部総会開催の案内がきましたら是非出席して下さい。先輩や後輩と会って

親睦を深めて下さい。きっと、あなたの人生に大きなプラスになると思います。

校友会支部一覧(支部設立順)

支部名	支部長	所在地・電話番号
1 岡山県	芦田正之	〒708 岡山県津山市河辺1155-31 コスモツーリスト内 ☎0868-26-5423
2 香川県	橋本修洋	〒765 香川県善通寺市上吉田町107-2 橋本運輸(株)内 ☎0877-62-2070
3 大学	太田充紀	〒574 大阪府大東市中埜内3-1-1 大阪産業大学内 ☎0720-75-3001
4 愛媛県	渡部一誠	〒799-23 愛媛県越智郡菊間町粟山 ☎0898-54-2358
5 吹田	伊藤孝義	〒564 大阪府吹田市朝日が丘町12-22 ☎06-388-7100
6 大分県	川辺謙悟	〒870 大分県大分市花津留1-3-18 ☎0975-58-0639
7 兵庫県西	大久保司	〒670 兵庫県姫路市西今宿2-4-6(株)ビジネスサービス内 ☎0792-98-1000
8 大阪日産モーター	唐津 登	〒552 大阪市港区福崎2-2大阪日産モーター(株)港板金工場 ☎06-571-1123
9 高知県	武田博昭	〒780 高知県高知市前野816-1 ☎0888-45-1577
10 大阪北河内	山崎重章	〒573 大阪府枚方市茄子作1-2-4 ☎0720-54-6609
11 奈良県	森田富士男	〒630 奈良県奈良市大豆町10 ☎0742-24-5903
12 和歌山県	山西義彦	〒642 和歌山県海南市阪井992 ☎0734-87-3356
13 柏原市	池田義隆	〒582 大阪府柏原市本郷1-3-38 ☎0729-71-6631
14 長崎県	吉野由喜男	〒856 長崎県大村市須田ノ木町871 ☎0957-52-2041
15 三重県	山本孝文	〒515-25 三重県一志郡一志町波瀬5047 ☎05929-4-7643
16 関東	井上静也	〒225 神奈川県横浜市緑区荏田南1-20-4-1102 ☎045-941-8405
17 新潟県	近藤周二	〒940-21 新潟県長岡市三ツ郷屋2-8-1 ☎0258-27-3960
18 福井県	小泉広美	〒910 福井県福井市宝永4-6-3 北陸設備工業(株)内 ☎0776-24-1700
19 鳥取県	吉本定美	〒682 鳥取県倉吉市八幡町3308-4 ☎0858-22-7515
20 広島県	市田良臣	〒731-37 広島県山県郡簡賀村字市77 ☎0826-32-2634
21 大阪市北	前田憲治	〒532 大阪市淀川区三津屋中3-8-10 (株)ニホンゲンマ内 ☎06-302-1251
22 鹿児島県	山本誠也(代行)	〒890 鹿児島市紫原3-15-24 ☎0992-56-7403
23 北海道	浜田修平	〒042 北海道函館市上湯川町20-10 ☎0138-57-9126
24 大阪日産自動車	中小路修	〒593 大阪府堺市上603-1 大阪日産自動車(株)鳳南支店 ☎0722-74-1181
25 福岡県	藤 洋一	〒811-12 福岡県筑紫郡那珂川町今光5-46 ☎092-952-3252
26 神戸市	森本 勉	〒651 神戸市中央区小野柄通6-1-18-317日東住販(株)内 ☎078-242-7823
27 宮崎県	重黒木一夫	〒883 宮崎県日向市大字財光寺4806 ☎0982-54-9010



鹿児島支部総会で、幻の笛「天吹」(てんぶっ)を披露される幹事の有馬順一郎さん



お国名物の「イモ焼酎」で話もはずむ鹿児島支部の酒豪?

高知名物「血鉢」(さわち)料理に舌つつみを打つ高知県支部の皆さん



前号の北海道編から一転して今回は観光のメッカ長崎へと舞台を移します。

今回、ご協力いただいたのは産大3期(機械科)の校友会長崎県支部長・吉野由喜男さんです。

世界最初の海上空港としてその美しさが讃えられる長崎空港は長崎県のほぼ中央・大村市にあります。



アズ式海岸が続く大村湾を眼下に見ながら空港に着陸する時の感激は忘れられません。長崎空港から車で約20分程の所、大村市須田ノ木町に吉野さんが経営する株式会社「サンダイ」があります。

株式会社「サンダイ」

凡友にとって涙が出る程うれしい屋号「サンダイ」『写真』は言うまでもなく産業大学からのネーミングであると吉野さん。年間売上高4億5千万円の会社の社長さんです。業務内容は農業、畜産および水産用資器材、養殖水産動物配合飼料等の販売ですが、最近では麦飯石の効用に興味を持ち、それを使用した浄水器の製造販売も行っております。

また、かねてより国際ボランティア



社長室での吉野さん

IA活動に興味を持っていた吉野さんはその社会奉仕を実践するために通信販売の会社を設立するそうです。本年10月に設立予定の会社の定款に社会奉仕についてうたい、解放が進む中国を主たる地域として会社組織による国際奉仕活動を展開したいとのことでした。

雲仙普賢岳UPDATE

大村市内ではハウステンボス行きの波止場などを案内して下さった吉野さんに凡友の次の目的地島原市までマイカーで(約1時間半)送って戴きました。その島原市ではすばらしい人にめぐり会う事ができました。それは吉野さんの友



株式会社サンダイと雲仙普賢岳

人の紹介で知り合った宮崎春而(しゅんじ)さんです。あの森繁久弥が友人であった宮崎康平氏作詞の「島原の子守唄」を歌って大ヒットさせたそうですが、その康平氏令息の春而氏は知る人ぞ知る鬼太鼓座3代目会長であり、博識者で、特に普賢岳災害についてはボランティア活動を通じての知識が豊富で普賢岳見物をマイカーで案内して下さいました。

普賢岳は現在も成長しており、マグマの噴出量は1日当り約6万立方メートルと噴火初期の約30万立方メートルに比較すると大幅に減少したものの、熔岩ドームの体積は約1億立方メートル(東京ドームの82杯分)に達

しています。宮崎さんの話では火砕流の発生件数は確実に減少しており、また、発生しにくい状況になりつつある。しかし、今後は大雨後の土石流が必配であるとのことでした。

真夜中の怪、遮断機が降りる

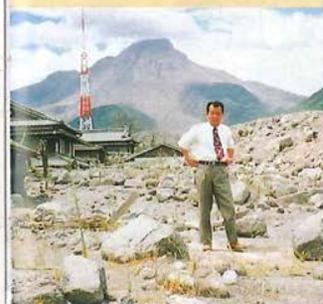
宮崎さんの会社のすぐ近くの島原鉄道の遮断機が電車の通らない真夜中に突如降り始めたことがあったそうです。また、自動販売機やコピー機が突如作動不良になるなどの事件があったそうですが実はこれらの原因は火山灰であると断定されました。それは火山灰が空気中を漂っている間に摩擦によ



西の軽井沢と呼ばれる雲仙温泉街

って静電気を発生し、多量に帯電した火山灰がそれらの電子機器に降り積ったために起った故障ということでした。

最近、普賢岳の様子を全国ネットで紹介するテレビ放映が少なくなりました。しかし、被災地の人々は3年以上という長期の避難生活で身も心も疲弊しておられます。



水無川付近の被災地と筆者

全国の人々が普賢岳災害に無関心になるとやがては行政もそれに合わせて災害対策がおろそかになるのではないかと心配です。

西の軽井沢 雲仙温泉

日本最初の国立公園として指定された雲仙は島原半島中央部に位置しており、通称雲仙岳は最高峰の普賢岳(噴火前1359m)を始め、国見岳、妙見岳などから成る集成火山の総称です。雲仙温泉街は妙見岳の南西、標高700mの位置にあり、古くから長崎在留外国人の避暑地として発展した所で、是非訪れてほしい温泉です。

今回訪れた観光地は大村市、島原市(普賢岳)および雲仙温泉のみでした。しかし、長崎にはもつと多くの観光地があります。今回の旅行で実感したのは長崎の人々の人情の深さでした。旅行者が最も感銘を受けるのはすばらしい景観もさることながらその土地で触れ合った人々の心のあたたかさではないでしょうか。

(編集部 大平和昭)



長崎の新名所 ハウステンボス

「東西線」工事の見学

京都市では、将来の町づくりのために、近代的な高速鉄道を中心とする交通体系の整備が進められています。

今回、京都高速鉄道株式会社建設部にお勤めの川本一雄さん（校友会幹事）と佐藤愛光さん（京都高速鉄道株式会社、地下鉄東西線建設事務所・所長代理）の案内で地下鉄東西線工事の現場見学をさせていただきます。

川本さんは、長年にわたる鉄道建設工事の経験を生かして、地下鉄工事に伴う補償問題を担当されています。例えば、杭の打設による井戸の枯渇問題、工事用の立抗構築によるテレビなどの電波障害、工事の振動、騒音の問題です。

川本さんは、「これらの問題を解決するために、地元のみなさんに説明と話し合いを何度となく行います。工事への理解と協力を得るためには、たいへん神経を使う仕事です。」と話されていました。

ヘルメット着用

いざ！ 工事現場へ

8月2日（火）午後2時、京都市左京区にある京都高速鉄道㈱建設事務所集合した取材班（編集部の大平和昭、高見新一、足立清）は、佐藤さんより工事概要の説明を受けた後、早速、工事現場へと向かいました。見学をさせていたただいたのは、三条京阪駅工区、東山トンネル工区、御陵駅工区の3工区です。

【三条京阪駅工区】

鴨川の東に位置し、京阪本線の開削工法が採用できないため、駅



三条京阪駅工区、地下1階



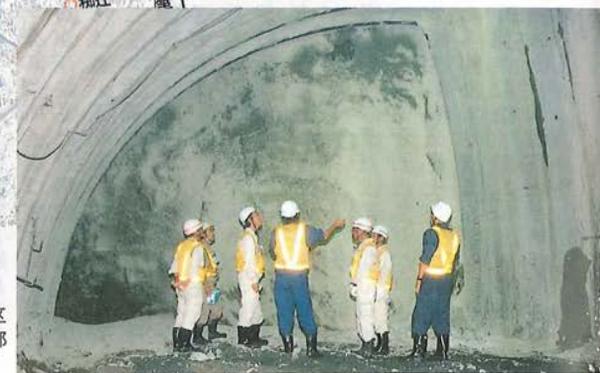
御陵駅工区 バイブレードを支えるジャッキ群

の両端部に立抗を設置し、立抗内より鋼管を圧入してバイブレード（パイプの屋根）を形成し、道路及び軌道の仮受けを行った後、パ



（右から、足立、佐藤、大平、川本、高見の各氏）

案内は 川本一雄さん
（交短運1期）



東山トンネル工区 掘削先頭部

イブレード下を掘削する路下開削工法を採用しています。

【東山トンネル工区】

御陵（みささぎ）駅と蹴上（けあげ）駅間の山岳トンネル15.68kmの築造工事で、NATM（ナトム）工法を採用しています。蹴上駅に隣接する延長120mは掘削断面積が約150平方mの大断面となっており、蹴上駅の一部になります。

☆NATM（ナトム）工法、山岳トンネル分野で用いられているトンネルの標準工法で、地山の持つ強度とアーチ作用を有効に活用して、地山と一体とした吹き付けコンクリートやロックボルト、鋼製支補工を適時用いてトンネルを掘削する方法。

【御陵駅工区】

山科盆地の西北端、天智天皇陵の西側に位置し、京阪京津線の乗り入れ駅となる全長293m、地下3階の御陵駅の築造工事です。この工区は、路下より鋼管を圧入してバイブレードを形成し、道路及び営業線の仮受けを行った後、バイブレード下を掘削する路下開削工法を採用しています。御陵駅の縦断垂直バイブレードの施工総延長は1万800m以上で、施工実績では世界最長です。

取材班 地上に帰還

汗びっしょりで、すべての工区の見学が終わったのは午後5時30分。取材班が地下鉄工事の見学をしたのは初めての体験で、見るもの、聞くもの全てが興味深く、勉強になりました。

見学のお世話をいただいた川本さん、佐藤さんをはじめ、各工区の担当者のみなさん、本当にありがとうございました。たいへん貴重な経験をさせていただきました。工事が安全に竣工する事をお祈りいたします。

支部のページ

ひろげよう！ 校友会支部

- ①岡山県支部
- ②香川県支部
- ③大学支部
- ④愛媛県支部
- ⑤吹田支部
- ⑥大分県支部
- ⑦兵庫県西支部
- ⑧大阪日産モーター支部
- ⑨高知県支部
- ⑩大阪北河内支部
- ⑪奈良県支部
- ⑫和歌山県支部
- ⑬柏原市支部
- ⑭長崎県支部
- ⑮三重県支部



- ⑯関東支部
- ⑰新潟県支部
- ⑱福井県支部
- ⑲鳥取県支部
- ⑳広島県支部
- ㉑大阪府北支部
- ㉒鹿児島県支部
- ㉓北海道支部
- ㉔大阪日産自動車支部
- ㉕福岡県支部
- ㉖神戸市支部
- ㉗宮崎県支部

1994年9月末現在

次期役員は新人に

高知県支部総会

支部長 武田 博昭

平成5年度の高知県支部総会を1月22日(土)午後5時30分より、本部から大植副会長、福井常任幹事を迎え、高知会館で開催致しました。今回の支部会員の参加者は17名で若千少人数の総会となりました。

総会に先立ち、支部結成当時か

ら支部長を務めていただいております。中央自動車工業社長、山岡重基氏の急逝を報告すると共に、ご冥福をお祈りしました。

総会では大植副会長から、大学の近況等をお話いただき、引き続き会計報告の承認、役員の変更を行いました。結果は私が山岡さんの後任として支部長役を引き継ぎ、残りの任期を務めることとし、改選は次回支部総会において、昭和56年以来ほとんど変更の無い役員をできる限り新人にバトンタッチすることです承されました。

総会がすんで懇親会を開催致しました。はじめて参加された方も、いままですべて参加されている方、それぞれおられました。大学を同じくする者同士、すぐに打ち解けて、懐かしい学生時代の話や趣味の話等に時間のたつのも忘れて大いに盛り上がりました。

また、支部活動の一環として、高知県中村市下田に完成したオートキャンプ場「とまろつと」で夏季に懇親会を開催するとの意見が出され、賛成者多数で決定するなど、盛況の内にお開きとなりました。

その後の2次会は野村さん推薦のおすしを食べに出かけ、オート

キャンプ場「とまろつと」での開催を再度確認し、9時過ぎ、解散となりました。

重責者が多く

企業より高い評価

大阪日産モーター支部

支部長 唐津 登

第8回大阪産業大学校友会大阪日産モーター支部総会を6月18日、大阪市北区中之島NCBホテル31階のトップラウンジにて開催しました。

校友会からは、村田会長、支部推進部の栄田氏にお越しいただき、大阪産業大学の近況、今後の校友会の在り方等の説明があり、会員一同、母校・大阪産業大学の益々の発展に多いに満足と誇りを持った表情を伺える事ができました。ご存じのように私たち自動車業界はバブル崩壊後、非常に厳しい時代を迎え、平成5年4月に大阪日産モーター(株)と日新日産モーター(株)とが合併、日産モーター系列では全国で2番目の大規模デライーとなりました。

合併による人事異動も終わり会員名簿の整理をしますと、84名の会員が確認され取締役、店長、次長、課長、工場長等の管理職が10名、また、労働組合執行委員長と重責者が多く企業より高い評価を受けております。

総会には84名中、55名が出席し、1部は新役員を選出、会則の説明、支部の目的説明、2部は31階のトップラウンジの窓から大阪市内の夜景を一望に見渡せる会場で懇親会。豪華賞品が当たるビンゴゲームで大いに盛り上がり、親交を深める事ができました。

今回の総会での成果は、会員一人一人が大阪産業大学の卒業生で



あることから、合併した会社におこりがちな対人関係の派閥的な物が全く無く、多いに親睦を図れ今後の業務遂行に当たって大きな潤滑剤になった事であります。

特筆すべきは 若い卒業生の参加

和歌山県支部総会

支部長 山西 義彦

平成6年2月20日に和歌山市の「長安閣」で校友会本部からの来賓を迎えて和歌山県支部総会を開催しました。参加者は35名で、特筆すべきは、平成元年、2年、5年度の若い卒業生の参加があったことです。そしてまた我が和歌山県支部の最年長のお一人でもある坂口義夫さん(S28交契)が元気な、お顔をみせていただきました。今年には特に議題もなく、乾杯の音頭と共に懇親会となり、懇親会では、なんてったって話題の中心は若い卒業生の4人組で、大学や先生がたの近況を聞いたり学生生活の話をしたりで、おおいに盛り



上がって大成功。

今回は県の南部からの参加者が無かったので次回は南部の校友との親睦をはかるためにも、中部あたりで支部総会の開催を計画しようとの声が上ががり、また支部役員若返りなどの話題もあり今後の課題となりました。

来年の支部総会は 母校訪問

愛媛県支部総会

支部長 渡部 一誠

平成6年7月10日(日)に愛媛県支部総会を、東京第一ホテル松山で開催しました。

校友会本部から、西川副会長、田中常任幹事、香川県支部より梅本副支部長に出席していただき、経過報告、会計報告、役員改選があり、承認されました。

出席者16名の中で初参加の方が5名おられ、全員で自己紹介をしました。

田中常任幹事より、ビデオを使って大学の現在の状況、風景等を聞き、自分の学生時代と比較し、立派な母校に変身しているのに驚きました。

懇親会は、梅木副支部長の幹杯の音頭で始まり、飲むほどに、話もはずみ、一段と和やかにになりました。

そして、年末には、忘年会をしてはどうかという話にまでなり、12月初めに、道後温泉で開催する事に決まりました。

また、来年の支部総会では、大阪産業大学へ、平成7年7月初めに行つては、どうかと言う話になりまして、家族同伴で、出かけて行く予定に致しております。

今からみんなで楽しみにしております。改めてご案内申し上げますが、予定しておいて下さい。新役員は次の通り。

▽支部長 渡部一誠▽副支部長 新山能久、安川隆博、能智正雄
▽幹事 吉村定修、武田正人▽会計 渡辺計▽顧問 正岡俊彦



新体制が発足

奈良県支部総会

支部長 森田 富士男

平成6年5月29日(日)午前11時より、奈良市内の「ホテルフジタ

奈良・ガーデンルーム」において県内在住者及び県内に勤務されている会員37名が出席し奈良県支部総会が開催されました。

総会では、役員改選と役員改選に伴う会則の改正が審議され、参加者より活発な意見交換があり、その結果、次の通り新体制が出来上がりました。

▽支部長 森田富士男(新任)
45経営▽副支部長 久保田昌男(留任) 43機械▽同 森西進(同)
46交機▽同 岸本千代隆(同) 51機械▽同 益田周平(同) 55機械▽同 坂口宗久(新任) 43交機▽同 小川秀一(同) 46交機▽同 仲俊明(同) 46土木▽会計 岡本晃(新任) 49経営▽監事 大植義夫(留任) 38交短、47交機II▽同 竹本芳生(新任) 45経営

なお、前支部長の花崎博美氏(45経営)は、奈良県支部顧問に就任。

総会後には、校友会会長村田陽行氏、三重県支部長山本孝文氏にご参加いただき、懇親パーティーが開催され、参加者全員が、あすの支部を語り合い、学生時代を語り合つて大いに盛り上がり、13時30分に無事お開きとなりました。

大分県支部総会開催

6月25日・ホテル清風



北海道支部総会開催

3月26日・ホテルノーステイ



和やかに 親善ソフトボール大会

大学支部

支部長 太田 充紀

今年も恒例の大学支部と大阪北河内支部とのソフトボール大会が5月22日(日)快晴のもと、大学第3グラウンドで開催されました。会員の家族も含め40数名が参加、午前中に両支部対抗ソフトボール大会を行い、女性や子どもも一緒に汗を流しました。昼食は、バーベキューパーティー。奥様方に調理等を協力していただき、家族ぐるみ楽しいパーティーとなり、なごやかな一日を過ごしました。

ライブミュージカル 「OSAKA物語」に出演



米田 治さん（産大12期）

があり、ミュージカルを公演するきっかけにもなりました。また、みなさんがパーティー、公演会などの催しをされる時はご連絡下さい。スケジュールが合えばどこへでも伺います。」と話されています。

今年の校友会総会パーティーには米田さんも出席して、おおいに盛り上げていただけると良いでしょう。校友会のみなさまには、「A gain（涙の水溶ける時）」、ライブミュージカル「OSAKA物語」のご支援をよろしく願っています。

★米田さんの連絡先
アトム・エイティフォー（株）
電話 0797（81）5332
（編集部 高見 新一）



熱唱する米田さん（上・円内も）

平成6年10月25日（火）～26日（水）大阪・上本町の近鉄小劇場で、校友会員の米田治さんが、コント赤信号の石井光三社長、末広真季子さんたちと共演で、ライブミュージカル「OSAKA物語」を公演いたします。

演題の「OSAKA物語」は、ただ今、キングレコードから好評発売中の米田さんのシングルディスク「A gain（涙の水溶ける時）」に収録されている2曲目のタイトルです。

音楽の好きな米田さんは、大学生の時からバンド演奏活動を積極的にに行いました。卒業直前、「自分の仕事は音楽しかない。」と決心した米田さんは、卒業と同時に芸能界へ飛び込み、プロダクションに所属しながら音楽活動を続けました。現在は、芸能プロダクションのアトム・エイティフォー（株）に所属して多方面で活躍されています。

米田さんは、「A gain（涙の水溶ける時）」の発売について、「このシングルの中の「OSAKA物語」は、私の芸能生活を歌詞にしたもので、たいへん感慨深いもの

「にれの木ピアノ工房」経営者

木瀬 勉さん（産大9期）

滋賀県は八日市市野々宮町で「にれの木ピアノ工房」を経営する木瀬勉さん（40）。

高校時代から本格的な音楽活動をしてきた木瀬さんは、大学に入

ってから軽音楽部で大活躍。卒業して橋梁関係の会社に就職しましたが、音楽に対する熱い思いを断ち切ることができず、楽器販売店へ転職、そこでみっちり勉強して、昭和58年に開店しました。最初は、ピアノの修理からスタ

ートして少しずつお得意さんを増やして行きました。今では、ピアノはもちろんエレキトーン、フルート、ギターなどの販売も手がけています。

また一方では、市内あちこちで音楽教室を開き、小学生を中心に中、高校生、それに一般の人たち約160人にピアノやエレキトーン、ギターの指導をしています。それぞれ専門の講師が教えているわけですが、木瀬さん自身も、八

日市市のギター教室の講師として毎週木曜日午後8時から一般の人たちのレッスンをしているそうです。

木瀬さんのもうひとつの顔は、「八日市レビュー」というバンドのマスターなんです。木瀬さんはギターなんです。作詞、作曲から編曲まで、大変な仕事のようにです。クラシック、ジャズ、ポピュラーと幅広い演奏は、市内で好評を得ています。「お金をもらっての出演ですから、お客様に満足していただかないと。しんどいですよ」と木瀬さんはセミプロの苦勞を話します。

大阪音大出身の奥さん、泉さんもピアノ教室の先生。コーラスも指導するなど、木瀬さんご夫婦は「街の有名人」です。

ちなみに「にれの木」と名付けたのは、昔のピアノには、松の木やにれの木を使っていたので、松の木でもなろうと、カッコよい「にれの木」にしたそうです。

★電話0748（23）6750
（編集部 足立 清）



お店でピアノの調律をする木瀬さん

「カートは600馬力！」

——あなたの2000ccの車は何馬力？——

浦野 真司さん（産短3期）

浦野真司さんは、大学卒業後、トヨタ、ホンダと四輪や二輪の整備技術に磨きをかけ、現在は別府でレーシングカートとバイクの店を開いています。

若い頃からモータースポーツに親しみ、現在では彼の生活の全てがレーシングカート漬けになっているそうです。

きっかけは、弟さんから借りたカートで初走行し、全く思う様に走れない、その難かしさから、のめり込んでしまったそうです。

100ccで30馬力のカート、2000ccで換算するとなんと600馬力にもなるそうです。F1に最も近いスポーツと言われるわけです。以後、レースに出場し、多

数のトロフィーや賞状等、85年には九州地区のチャンピオンになったことも。

現在は別府市内で、店のオーナーとして、「チームうらの」の監督、指導者として、趣味と実益を兼ねたすばらしい人生を歩んでいます。

ところで、そんなにレーシングカート漬けでは、家族サービスの方は？との問いに答えて、「小さい時から、息子を遊びに連れて行け

ないので、レース場へ連れて行ってきましたよ。」

毎週のように店とチームの面倒を見ながら、忙しい毎日の浦野さんにも去年、大きな喜びがあったそうです。

それは、「チームうらの」(当時はチーム魁^{きずな})といったそうです)の1員が、全日本FAクラスに昇格したのでです。そして、その人こそ、彼の息子なのです。浦野さんの喜びもひとしお。今年はより上を目指すそうです。

九州でレーシングカートに興味のある会員は一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

☎0977(25)7706

(編集部 才原 篤)

い子になってしま、その時だけ取り繕おうとするんですね。ある程度自由にして子供の個性を伸ばすようにしてやるのが指導者の役目ではないかと思うようになってきました。子供達と一緒に遊ぼうな感じでやるんですよ。楽しいですよ」と語ってくれました。

原田さんは大学の時に拳法を始め、1973年に土木工学科を卒業して会社勤めをしましたが、このままでいいのかと考え、大好きな拳法の道場を開くことになりました。仕事と道場を両立させるハードな生活で体がしんどくなってきて道場で立っていられなくなってきたそうです。

そんな時、足を揉むことで健康になるという足医術の指導を受け、その有効性を自分自身で体験したことから足医術の研究を始められたそうです。それらを本にまとめるとともに広くこの技術を知ってもらいたい。そして、みんなが健康で暮らせるようにとの思いから『足医術完全図解』(福晶堂)を出版されました。

原田さんのおだやかな話しぶりと、肩を張らないそのしぐさに、自然体に生きる一人の男を見たような気がしました。

(編集部 松本 章)

「子ども好きでやさしい拳法家」

原田 秀康さん(産大5期)

原田さんが出版した「足医術完全図解」



現在、日本国内各地、アメリカ、ドイツに支部道場を持つ魏桜(ぎおう)流拳法2代目宗家の原田秀康さんを訪ねました。道場では小学生達がちょうど練習を始めたところで、彼らは先生(原田さん)に注意を払い、その指示にすぐに反応する。練習が終わった後、「あー楽しかった」と子供達の声。

原田さんのおだやかな話しぶりと、肩を張らないそのしぐさに、自然体に生きる一人の男を見たような気がしました。

(編集部 松本 章)



「遊ぶような感じ」と話す原田さん

レーシングカートの整備に余念がない浦野さん

校友のひろば

銅製の版画届く

マレーシア留学生から



会いましょう」

昭和51年に工学部交通機械工学科を卒業された朱光輝（チューコンフィー）さんからのお便りです。朱さんは卒業後、三菱自動車で1年間勉強、マレーシアの現地法人三菱自動車を経て、東京銀行マレーシア支店貸付課長勤務。退職してから現在は宗教関係で活躍中とのこと。

校友会に寄贈された銅製の版画は、タテ29センチ、ヨコ40センチの大きさです。朱さん、ありがとうございます。校友会の事務室に飾り、校友の皆様に見ていただきます。ご活躍をお祈り致します。

新理事に梅本顧問



校友会顧問で大学事務部長の梅本昌則氏（写真）が、去る3月18日に開かれた学園の評議員会で、理事に選任されました。梅本氏は交短15期、校友会の代議員、副会長、会計監事などを歴任されました。理事の任期は平成8年5月末日までです。

「オートバイの科学」

を寄贈

長島 英彦さん（交短13期）

「シマ・デザイン」の経営者、長



島英彦さん（交短13期）は、東京都市小平市上水本町2-8-27は、自著（ペンネーム島英彦）の「オートバイの科学」（B501、198ページ、580円）を写真集を「学生に見せて下さい」と3冊校友会へ寄贈して下さいました。

長島さんは、大阪交通短期大学自動車工業科を昭和38年に卒業。二輪専門誌モーターサイクリストのテストライターを経て、昭和51年にシマR&Dを設立し、二輪、四輪などの開発に当たってこられました。

大学単車研究部の顧問をされている校友会大字支部の花野元哉さん（短大講師）に相談した結果、大学総合図書館へ寄贈して多くの学生に読んでもらうことになりました。

福引は大当たり

校友会総会に参加して 鉄道研究部OB会

磯 久範さん（産大15期）

昨年10月24日（日）、凡友にも記事があったように、新神戸オリエンタルホテルで平成5年度校友会総会が開催され、今年OB会役員の楠本達也氏（産大10期）▽桑名憲治氏（産大13期）▽早川隆司氏（産大13期）▽久保博毅氏（産大24期）と私の5名という前年の「ドタキャン2名」とは打って変わって大勢で参加しました。

校友会代議員には、鉄研OBは

誰もいませんので、総会パーティーだけの出席でしたが、約450名の参加者（卒業生とその家族、役員、学校関係者）があり、それぞれ個々顔見知りの人と談笑する中、最初の30分は飲食時間で、誰もがバイキングメニューを取って食べるのに一生懸命で、我々もここぞとばかり鍛えぬかれた鉄研根性で、飲み食いにいそしみました。一段落の後、我々はその本懐を達すべく、幾多の人の波をかきわけ、校友会会長から理事長、学長、関係役員へと矢継ぎ早に挨拶に回り、それぞれの会話を交わす中にも、2年以上も前の事でありながら、鉄研と言えどもやはり、25周年記念イベントが話題の中心になり、今後の30、40周年に向かってのOB会の意気込みをお話ししました。

また、総会の途中、祝電の披露があり、とりわけ我がOB会会長直伝の迷文（？）には、しばし会場内の時間が止まりました。

会も終わりに近づくと、お待ちかねの抽選会が始まり、昨年の実



校友会の村田会長（右）と懇談の鉄研OB会事務局長の桑名憲治さん（左）と委員の楠本達也さん（中央）

「私は、マレーシアからの留学生のチューと申します。卒業して10数年、大学も大変発展しているようにほんとうに光栄とおもいます。凡友を通して、先輩たちの活躍と社会に貢献している事を知り、とてもうれしいです。

在校の時、大変お世話になりました。ありがとうございます。松浦先生、服部先生、荒木先生 Thank you 皆様、マレーシへ来られたらぜひ連絡して下さい。

なお、今回日本へ来ましたが、残念ながら総会には参加できず、しかし皆様と同じ気持ちでお祝いしたいと祈ります。校友会総会とパーティーの大歓喜、大成功！おめでとございます。

マレーシアの銅製の版画写真一つおくりします。お粗末な物ですが校友会の記念にして下さい。凡友、ありがとう。またいつか

績(2名中1人)を上回るべく一同の熱い期待が天に通じたのか、なんと出席5名のうち3名が幸運を射止め、鉄研OB会の運のいいところを今回も見せつけました。

最後に、私自身卒業して10年、この総会に初めて参加し、先輩同期、後輩と顔見知りに加え、昔話に花が咲き、非常に楽しく過ごせました。OBの皆さん、校友会総会に是非参加しましょう!

(鉄道研究部OB会会報「カプラー」No.10から転載させていただきました)

総会の席上、話題になった鉄研OB会会長・植野順彦さん(産大11期)のお祝い電文を紹介しましょう。

「美酒と美人のコンパニオンを前に、鼻の下ロングシートの諸先輩、諸氏を尻目に、出張先の富山にて今日をすこすは残念無念。唯一のなぐさめは眼下を走る北陸線。同

期生乗務の特急『かがやき号』、間もなく定期通過。しやーない。男同士で線路の友情じゃ」

卒業生に記念品贈呈 大学支部会員が 労力奉仕

校友会は毎年、卒業式の日にならぬ卒業生に記念品を贈呈しています。今春も2082人の卒業生にプレゼントしました。

特製のペーパーバッグの中身は、学位記または卒業証書を入れる筒、校友会報「凡友」、卒業生に贈る言葉、それに時計(後援会)、写真立て(学生健保)などです。

この袋詰め作業から卒業生に手渡すまでの一連の作業は、校友会大学支部の会員たちの労力奉仕によるものです。9号館1階の会

議室では、卒業式当日の午前9時過ぎから、数十人の会員たちが山と積まれた記念品を流れ作業で次々と袋詰めし、式場の総合体育館から出てくる卒業生に手渡ししていただきました。ご苦勞様でした。



広い総合体育館も卒業生でいっぱい



ずらり並んだ記念品の入ったペーパーバッグ

杉本さんが初優勝 第5回 校友会ゴルフ大会



	NET	HDCP
優勝	杉本 登(大阪北河内支部)	28 28
2位	足立 清(校友会事務局)	68 17
3位	池田義隆(柏原支部)	70 20
4位	光岡明弘(岡山県支部)	76 18
5位	倉島廣治(大学企画開発室)	78 7
6位	坂田茂美(岡山支部)	87 15
B-B	印藤 隆(箕面市)	91 35
B-M	奥平吉照(大阪北河内支部)	98 20
☆NP	池田、杉本 ☆DC 池田、光岡	

第5回校友会親善ゴルフ大会は7月28日(木)兵庫県三田市の三田レイクサイドカントリークラブで開催されました。

参加者全員、汗びっしょりになりながらも、猛暑にもめげずにナイスショット?を連発、なんとかホールアウトしました。

優勝は、5回連続出場場の杉本登さんが念願の初優勝(写真下右)ベストグロス足立清さんで87(北撰44、東撰43)。成績は右の通り。

おめでと。記念品を手に巣立つて行く晴れ着姿の卒業生



大学支部の会員による袋詰め作業、みるみるうちに空きタンポールの山が……



「近畿・北陸地区支部長懇談会」を開催

平成6年6月26日、京都グランドホテル

支部推進部では、支部運営にかかわる情報交換の場として、全国27支部の支部長による支部長会と、限られた地区内の支部長による地区支部長懇談会を隔年毎に開催しています。今年度は、地区支部長懇談会の年にあたり、「近畿・北陸」と「関東・中部」の2地区で開催することを計画しました。

その第1弾として、平成6年6月26日(日)午前11時より「近畿・北陸地区支部長懇談会」を「京都グランドホテル」にて開催しました。連日暑い日が続いているさなかの日曜日でしたが、遠くは、富山、石川県からも駆けつけていただきました。

参加していただいた支部は、大阪日産モーター▽大阪北河内▽和歌山県▽柏原市▽三重県▽福井県▽大阪市北▽大阪日産自動車▽神戸市の9支部で、まだ支部を結成していない京都、滋賀(2名)、石川、富山からも有志の方に出席していただきました。また、校友会本部からは、村田会長をはじめ支部推進部の田中▽峠▽久保▽福井

の5名が出席しました。

懇談会は、村田会長の挨拶に続いて、各支部長より自己紹介と支部の近況等について報告をいただき、田中武雄常任幹事の進行で討議に入りました。

討議では、①会員名簿②支部助成規程③支部の規模④会員子弟の優先入学制度等について積極的に意見交換が行われました。

参加していただいた支部は、本部のお膝元とあつて会員数が2000名ほどのマンモス支部があつたり、市単位の支部や職域(職場で会員を構成)支部があるなど多彩な顔ぶれで、支部の抱える悩みや活動形態に大きな差があることを改めて認識させられました。

また、支部のない府県より参加していただいた方々のなかには、既に支部結成に向けての準備を始めているところもあつて、支部結成および結成後の支部活動について、先輩支部より多くの助言を得ることもでき、この懇談会に参加された意義も大きかったことと思われまふ。



次回の「関東・中部地区支部長懇談会」は、11月27日(日)に静岡で開催を予定しています。
(支部推進部 福井義員)

賛助金(名刺広告)はじめ、企業広告等にご協賛をいただきますようお願いいたします。ご協賛いただいた方には名簿を1冊贈呈いたします。

校友会名簿は、昭和61年に発行してから9年間も発行しておりません。この間、校友の住所、勤務先等も相当変更になっていいると思われまふので、この機会に、是非ともご購入いただきますようお願い申し上げます。

校友会創立25周年記念名簿発行

約4万人の校友名簿を収録

頒布価格1冊6,000円

校友会では、創立25周年を記念して、約4万人の校友名簿を収録した記念名簿を、平成7年11月に発行することになりました。頒布価格は1冊6,000円(送料を含む)です。

このため、今年11月ごろから往

チャイム

ラジオから「臨時ニュースを申し上げます。巨大惑星/地球に接近!」
世界中の国々がその利害とイデオロギーを越えて地球防衛軍が組織され、「南極大陸に数百機のロケットエンジン建設してその推進力で軌道を変えろ」という地球救助計画が決まり、それが実行され、ついに地球が助かった。およそ40年前の映画での出来事です。
「こんなことは空想の世界で現実にはありえないことだ。子供じみた話でしかばかかしい。」と思っている人もいることでしょう。

1994年7月下旬にシューメーカー・レビー・第9彗星(核の数21個)が木星へ激突しました。その1個のエネルギーは広島型原爆の1億個分以上であると報告さ

れています。また、過去の事実として、巨大生物が約6500万年前に突如として死滅していますが、有力な原因の一つにメキシコ付近への彗星の激突が考えられているようです。すでに、太陽系第三惑星を守り続けるための地球防衛会議も発足されています。

こうなると映画や空想の世界だけの話ではないようです。現実には太陽セイルという帆を接近してくる惑星に取り付けてその軌道を修正し、地球の危機を回避しようとする真剣に考えている研究者もいます。

この夏、向井千秋さん(日本初の女性宇宙飛行士)が宇宙から地球を見て次のように話していました。「きれいで荘厳にさえ見えませんでした。暗黒の宇宙に浮かぶ地球を見て、ここに生まれたことを誇りに感じました。」
(A & A)



学園だより

多彩な学術交流5周年記念行事

学園と独ヴルツブルク大学

学園と独ヴルツブルク大学との学術交流5周年記念行事が、ヴュルツブルク関係者を迎え、4月18日から20日にかけて、本学と大阪市内で盛大に開催されました。

訪れた一行は、テオドル・ベルヘム学長▽ブルーノ・フォルスタ―事務局長▽ヨハン・ヨワノウイツチ学術外国局長▽ヴォルガング・フレリックス教授▽マンフレッド・タールハマ―教授、それにヴュルツブルク市のハンス・ユルゲン・ヴェーバー市長の6人です。

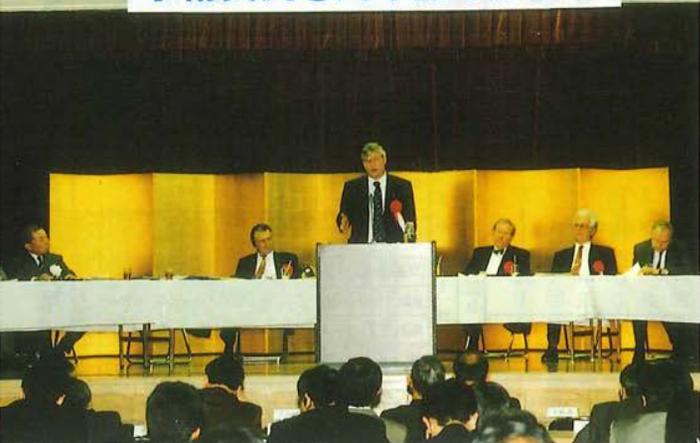
記念講演会―写真―は、18日午後1時から、関西の大学、企業関係者、市民を対象に、大阪市内の中央電気倶楽部で開催され、「ドイツ

の現在―社会と文化―をテーマにベルヘム学長▽フォルスタ―事務局長▽フレリックス教授▽ヴェーバー市長が講演、日本語に同時通訳されました。

シンポジウムは、20日午後1時から学生、教職員、地域住民を対象に、本学多目的ホールで開催されました。「転換機に立つ大学―ドイツと日本―」をテーマに、ベルヘム学長▽フォルスタ―事務局長▽タールハマ―教授▽中山常務理事▽室田学長▽河井教養部教授がパネリストをつとめました。

これに先立ち多目的ホールで、ベルヘム学長に本学名誉教授の称号授与式とピアノ演奏のセレモニーが行われました。

大阪産業大学 ヴュルツブルク大学 学術交流5周年記念講演会



平成6年度入学生 (カッコ内は前年度)	
大学院	54人 (39人)
大 学	
経営学部	875人 (978人)
経済学部	496人 (406人)
工学部I部	914人 (1,021人)
工学部II部	277人 (253人)
大 学 計	2,562人 (2,658人)
短 大	424人 (432人)
合 計	3,040人 (3,129人)

2専攻増設

大学院工学研究科

大学院工学研究科の情報システム工学専攻と環境デザイン専攻の増設が、3月16日付で文部大臣から承認され、これで従来の機械工学専攻▽土木工学専攻▽電気電子工学専攻と合わせて5専攻体制になりました。

承認された2専攻の内容は、課程が修士課程、入学定員各10人、収容定員各20人、修業年限2年、授与する学位は修士(工学)で、今春には、情報システム工学専攻5人、環境デザイン専攻7人が入学しました。

教養部の森本信男教授

栄えの日本学士院賞を受賞



教養部の森本信男教授―写真―は、3月14日に開かれた日本学士院の総会で、平成6年度(第84回)の「日本学士院賞」を受賞することが決まりました。授賞式は、6

月6日、東京・上野の日本学士院会館で行われました。

学士院賞は、日本学士院からその年の論文、著書、研究など、学術の各分野で特に優れた業績をあげた研究者に贈られるもので、森本教授の研究「鉱物の固容体形成の新機構の発見」が認められたものです。

本学関係者の受賞は、昭和55年の元工学部長、玉田珖先生(現園友会員)以来、14年ぶりのことです。

森本教授は、昭和21年9月、東京帝国大学理学部鉱物学科を卒業され、25年に同学部助手、同講師を経て、38年7月大阪大学産業科学研究所教授、52年12月京都大学理学部教授となられ、定年退官後、63年4月本学教養部教授として就任、化学、化学実験、演習を担当されています。大阪大学名誉教授、理学博士。

この間、53年6月から2年間、日本鉱物学会会長、58年11月から1年間、日本結晶学会会長を歴任されたほか、60年から岡山大学地球内部研究センター運営委員と国立極地研究所南極隕石研究委員会委員などを務めておられます。

また、38年11月には、日本人としてただ一人米國鉱物学会賞を受賞され、平成2年11月には永年にわたる学術振興に尽くした功績で紫綬褒章を受賞されました。

受賞を記念して、6月23日(木)には本学多目的ホールで「顕微鏡を通して見る地球と宇宙―鉱物を構成する原子の動きから何がわかるか―」という演題で記念講演会が催され、聴衆は会場を溢れました。

また、6月24日(金)には、大阪ロイヤルホテルで記念祝賀会が開催され、森本教授の受賞を心からお祝いしました。

大学・短期大学部 平成7年度入試要項決まる

		推薦入試		一般入試	
出願期間		平成6年10月21日(金)～11月4日(金)※		平成7年1月6日(金)～1月19日(内)※	
試験 日	経営学部	11月16日(木) 午前		経営学部 経営学専攻	2月1日(木) 10:00～15:00
	工学部I部 環境デザイン学科B			交通経営学専攻	2月2日(木) 10:00～15:00
	経済学部	11月17日(木) 午前		工学部I部 環境デザイン学科B	1月31日(火) 10:00～15:00
	工学部I部 機械工学科	11月18日(金) 午前		機械工学科	2月3日(金) 10:00～15:00
	交通機械工学科			土木工学科	
	土木工学科			電気電子工学科	2月4日(土) 10:00～15:00
	電気電子工学科			情報システム工学科	
	工学部I部 情報システム工学科			環境デザイン学科A	
	工学部II部	11月18日(金) 午後		工学部II部	2月5日(印)午後14:00～15:00
	短期大学部	11月19日(土) 午前		短期大学部	2月5日(金)午前10:00～12:30
試験場		本学		試験場 本学および東京、名古屋、金沢、京都、姫路、岡山、広島、高松、福岡	
合格発表		11月28日(印) 14時(学内掲示、郵送)		2月14日(火) 14時(学内掲示、郵送)	
入学手続		11月30日(木)～12月14日(初)※		2月15日(木)～2月21日(火)※	

※消印有効

平成7年度の大学・短期大学部の入試要項が決まりました。
募集定員は、平成6年度と同じで大学2180人、短大400人の計2580人です。
地方試験に工学部II部と短大も平成6年度と大きく変わるところは、一般入試の地方試験に工学部II部と短期大学部が加わって試験期間が1日ふえて6日間となったのと、外国人留学生入試の試験日が、従来の一般入試から推薦入試の時期に繰り上げられたことです。

可能です。
一般入試では、前年度と同じように経営学部の試験日が、経営学専攻と交通経営学専攻に分けられ別日程で、工学部I部の試験日が第1グループと第2グループに分けられ別日程で、それぞれ実施されます。
工学部II部と短期大学部の地方入試は、昭和42年に初めて実施され、その後一時中断していましたが、平成7年度から再開することになりました。これで本学を地方で志願する学生には、全学部・短大の受験機会が与えられることになったわけですね。
なお、地方試験は、一般入試と同一日に実施され、全国9会場、6日間の日程で行われることになりました。

学部	学科(専攻)	定員
大学 I部	経営学専攻	400
	交通経営学専攻	400
	経済学専攻	400
	機械工学科	120
	交通機械工学科	150
	土木工学科	120
	電気電子工学科	120
	情報システム工学科	120
	環境デザイン学科	120
	大学I部計	1,950
II部	機械工学科	80
	交通機械工学科	150
	大学II部計	230
	大学計	2,180
短期大学部自動車工業科	400	
大学・短大合計	2,580	

(いずれも臨時定員増含む)

古谷理事長ら

中国・西安公路学院訪問



本学と国際協力に関する基本協定を締結している中国・西安公路学院の招きで、古谷七五三次理事長はじめ法人本部、大学の役職者教員ら一行5人は、5月21日(土)同学院を表彰訪問し、王秉綱学院長らと懇談、交流を深めました。写真。

古谷理事長は「4年前の訪問時に比べ、中国の発展ぶりに驚いた。両大学の交流も、それに負けないように発展させたい」と挨拶されました。懇談会では、西安側から①貴学教員による講義、講演②本

学院教員、院生の短期留学③学術上の情報交換、共同研究などが提案され、古谷理事長は「室田学長とも相談し、検討したい」と答えられました。
なお、昭和54年、本学工学部に留学(進修生)された劉晴柏先生も同席、旧交を温めておられました。
(学園だよりについては、法人本部企画開発室広報調査課のご協力を得ました)

学生に人気の

ハンバーガーショップ

西部キャンパスの本館と12号館の間に、ハンバーガーショップ「ファースト・キッチン」が、4月19日にオープン、学生たちの人気を集めています。写真。

学生数が10,931人(うち女子1,272人)と急激に増えたため、従来の学生食堂だけでは、昼食時に学生が殺到して長い行列ができます。

そこで、混雑緩和と若者向けをねらって開店したもので、料金もハンバーガー210円、てりやきバーガー280円、チーズバーガー、フレンチフライポテト、ドリンクのセット480円など、低料金と豊富なメニューで好評です。



「私たちが、がんばりました！」

クラブ活動

吉見信夫選手 関西学生剣道選手権で優勝

剣道部の吉見信夫三段(電気電子4年)は、4月24日(日)、大阪市中央体育館で行われた「第42回関西学生剣道選手権大会」(58校、240人参加)に出場、見事に初優勝しました。写真。決勝では、志良堂祥伸三段(同志社大)と対戦、メンを一本取れましたが、コテとメンを取り、見事に初Vを果たしました。

この結果、7月3日、日本武道館で行われた「全日本学生剣道選手権大会」(176人参加)に出場し大健闘、5回戦ま



で駒を進めベスト16入りしました。

剣道部

西日本学生大会でベスト8

5月28、29の両日、福岡市民体育館で行われた「第39回西日本学生剣道大会」(参加115校)に出場して大健闘、団体の部でベスト8入りしました。

なお、ベスト8入りした大学の中から5人が優秀選手賞に選ばれましたが、山口耕司選手が受賞しました。

大阪学生新人大会で優勝

6月19日(日)追手門学院大で行われた「第25回大阪学生剣道新人大会」(参加24大学)の団体の部で見事に優勝しました。第19回大会(昭和63年)に次いで2度目の優勝です。

川崎選手、個人で準優勝

なお、個人の部(参加91人)に出場した川崎慎二選手(経済1年)は、決勝まで駒を進めましたが、延長戦の末、惜しくも敗れ、準優勝でした。

柔道部

橋本選手、関西学生ベスト8

5月29日(日)近畿大学記念会館で行われた「第13回関西学生柔道体重別選手権大会」に出場した橋本和明選手(土木3年)は、71kg以下級(出場110人)で

活躍し、ベスト8入りし、全日本大会出場権を獲得しました。

硬式野球部

田中稔士投手

通算最多奪三振記録

田中稔士投手(経営4年)は、阪神大学野球1994年度春季リーグ戦で、通算最多三振奪取370個の新記録を達成しました。従来の記録は、天理大の田村投手の持つ354個でした。

また田中投手は、春季リーグのベストナイン(2回目)、最優秀投手(4回目)にも選ばれました。

島田投手、初の敢闘賞

島田成也投手(経営2年)は、春季リ



リーグ戦で大活躍し、3勝1敗の好成績をあげ、初めて敢闘賞を受賞しました。写真には田中投手(左)と島田投手

陸上競技部

川崎選手、ハンマー投で優勝

川崎義弘選手(交通機械3年)は、5月18日から21日まで長居第2陸上競技場で行われた「第71回関西学生陸上競技対校選手権大会」に出場、ハンマー投で48kg32の好記録を出し優勝しました。川崎選手は、一昨年には優勝しましたが、昨年は2位で涙のみ、今年はその雪辱を晴らそうとがんばり見事に栄冠を獲得しました。



池野選手は100Mを制覇

池野博選手(経営4年)は、同大会の男子2部100Mに出場し10秒99の好タイムで優勝。200Mでも22秒05のタイムで3位に食い込みました。



無線部

関西VHFコンテストで優勝

昨年5月8、9の両日、兵庫県六甲山系で行われた「1993年度春期間関西VHFコンテスト」で優勝しました。コンテストには、近畿電気通信監理局管内から15校が参加、六甲山系に移動して、近畿地方を中心に全国の多数のアマ無線局と交信して技能を競い、最高の82、866点をマーク、電信電話社団局部門で総合1位、兵庫県内運用局でも1位を占めました。

自動車部

女子団体戦で準優勝

4月3日(日)、日本鋼管三重工場駐車場で行われた学生連盟主催の「第1回全関西ジムカーナ選手権大会」の女子団体戦(7校参加)で、大野由江選手(交通機械4年)上田あかね選手(交通経営専攻2年)の組が大健闘し準優勝しました。ジムカーナ競技は、舗装路面上に設けられたコースで行われるタイムトライアル競技です。

日本拳法部

全国大学選手権でベスト8

6月5日(日)早稲田記念会堂で行われた「第7回全国大学選抜選手権大会」(54校参加)で大健闘しベスト8入りを果たしました。1回戦はシード。2回戦の淑徳大戦は4勝1分けて快勝。3回戦は名古屋大と対戦、2勝2敗1分けて代表戦となりましたが、星野光二選手(経済4年)が見事に2本取りを決めて4回戦へ駒を進めました。そして中央大との対戦となり善戦しましたが、2勝3敗で涙のみでした。

空手道部

扶蘇選手、重量級を制覇

4月10日(日)、大阪市中央体育館で行われた「第21回大阪市空手道選手権大会」

♥ 2人の最初の出会いは
◆ プロポーズの言葉は

スイート♡カップル

♣ 新婚旅行はどちら
♣ 結婚祝いで印象に残ったものは



西村 健さん・のぶ子さん 産大19期
 <Wedding> 1994. 6. 5
 ♥ ……とあるパーティー
 ◆ 「結婚せーへんか?」そのあと「はあ?」

あと、いろんな言葉を
をならべて、
やつとOK
をもらった
♣ アメリカ西
海岸〜ハワイ
イ(11日間)
♣ 友人だけの
2次会



福島 宏さん・利江さん 産大22期
 <Wedding> 1994. 4. 16
 ♥ 友人の紹介
 ◆ 「いつしよに生活しまひよか」
 ♣ ブーケット、シンガポール
 ♣ 夢の演奏と友人からの手作りメッセージカード



上田達也さん・ゆかりさん 産大14期
 <Wedding> 1993. 12. 12

♥ 知人の紹介
 ◆ 「結婚してくれるかな?」
 ♣ ハワイ
 ♣ 炊飯器



横屋 進さん・真由美さん 産大21期
 <Wedding> 1994. 4. 10

♥ 友人の紹介
 ◆ 「結婚して下さい」
 ♣ イタリア
 ♣ みんなからの祝辞や祝電



谷晋さん・慶子さん 産大22期
 <Wedding> 1994. 2. 26
 ♥ 職場
 ◆ 「僕と結婚して下さい(頭を下げました)」
 ♣ シンガポール、バリ島
 ♣ クマのぬいぐるみ、ラブルとコーヒーカップ



鎌田浩也さん・美登里さん(旧姓東田)ご夫婦とも産大24期
 <Wedding> 1994. 2. 26

♥ 大学のクラブ
 ◆ 「僕が何とカするから」
 ♣ 北海道
 ♣ 友人の祝辞と歌



吉野忠道さん・かずみさん 産短17期
 <Wedding> 1994. 3. 21

♥ 知人の紹介
 ◆ 「結婚しよう!」
 ♣ ハワイ
 ♣ 親戚の春山さんからのいただいた食器乾燥器

清水英行さん・恵美さん 産大23期
 <Wedding> 1994. 4. 14
 ♥ 同じ会社の同じ部署の後輩
 ◆ 「いつしよになろうか」
 ♣ 伊勢
 ♣ 式で皆様に喜んでほしい祝福してもらったこと



スイート♡カップル

♡ 2人の最初の出会いは

◆ プロポーズの言葉は

♣ 新婚旅行はどちら

♣ 結婚祝いで印象に残ったものは



秋田卓男さん・明代さん
 <Wedding> 1994. 4. 17 産大17期
 ♡ 知人の紹介
 ◆ 特になし、自然に！
 ♣ ヨーロッパ（パリ、ローマ）
 ♣ 披露宴での友人のスピーチ、みんなの笑顔



宇野正紀さん・江利子さん
 <Wedding> 1994. 2. 11 産短20期
 ♡ 産大時代のバイト先
 ◆ 「結婚しましよ」
 ♣ ハワイ
 ♣ お祝いに多くの人が集まって下さったこと



松岡勝彦さん・智子さん
 <Wedding> 1994. 2. 26 産大22期
 ♡ 職場恋愛
 ◆ 「結婚しましよ」
 ♣ ハワイ
 ♣ 披露宴のキャンドルサービス、恩師の言葉



渡邊幹士さん・久美子さん
 <Wedding> 1993. 12. 19 産大18期
 ♡ 大学時代のバイト先
 ◆ 「そろそろ結婚しようか」
 ♣ オーストラリア、ニュージーランド
 ♣ 披露宴でのスピーチ、かくし芸（紙芝居）ディスプレイのからくり時計



野津秀樹さん・智美さん
 <Wedding> 1994. 6. 12 産大22期
 ♡ 同じ会社
 ◆ 「結婚しましよ」
 ♣ ヨーロッパ（スイス、フランス）
 ♣ 尊敬する方からいただいた祝電の内容「良き夫、強い父、可愛い妻、優しき母を祈っています」



重田 淳さん・知里さん
 <Wedding> 1994. 4. 3 産大24期
 ♡ グループ交際
 ◆ 「君にプレゼントがある、おれの名字」
 ♣ ハワイ（オアフ島）
 ♣ アルバム、ヘアのトレーナー



江尻和徳さん・ゆきさん
 <Wedding> 1994. 5. 5 産短23期
 ♡ 高校の同級生
 ◆ 「結婚しましよ」
 ♣ 北海道
 ♣ みなさんに撮ってもらった写真



山内 勇さん・智美さん
 <Wedding> 1994. 6. 4 産大24期
 ♡ 軽音楽部のコンパ
 ◆ なし
 ♣ オーストラリア
 ♣ ゲイバーでのお祝いと記念撮影
 久保田勝也さん・由香さん
 <Wedding> 1994. 3. 6 産大25期
 ♡ 友人の紹介
 ◆ （聞いていない）
 ♣ ジャマイカ、フロリダ、デイスーランド
 ♣ 友人がくれた祝いのカード

スイート・カップルについては、該当者にアンケート用紙を送り協力していただきました。（掲載は順不同）

平成6年度 校友会総会・パーティーのご案内



恩師、先輩、後輩、友人に会えるぞ！

北から南からよむとびで！

- 日時 平成6年10月30日(日)正午から
- 場所 ウェスティンホテル大阪
大阪市北区大淀中1-1-20
☎06(440)1111
- 会費 正会員5000円(家族2000円)
平成5年度卒業生は無料

※お楽しみ福引
特賞は液晶ビデオカメラ
ほか豪華景品多数



■交通のご案内(地図参照)

- ① JR大阪駅中央北口出口より徒歩約9分
- ② 阪急梅田駅茶屋町口出口より徒歩約9分
- ③ 地下鉄御堂筋線梅田駅5号出口より徒歩約9分
- ④ 阪神高速道路11号池田線福島ランプより約10分
- ⑤ 1号環状線梅田ランプより約5分
- ⑥ シャトルバス発着所より、専用バス

編集後記

今年の夏は特別でした。暑い日が続く、日本の各地で最高気温の新記録、異常渇水の話ばかり。特に、西日本の渇水は異常なばかりで、日々の生活にご苦労された校友のみなさんも多かったと思います。

大阪も連続連夜の熱帯夜、もううんざりの毎日でした。「暑い、暑い」と言っているも始まらない。暑い時は暑い所へ取材に行こう！と、九州(凡友旅にでる、校友の活躍ぶり拝見、京都(地下鉄工事の取材を敢行しました。編集部員が暑中、汗を拭きながら奔走して取材した記事の出来映えはいかがでしょうか？

凡友(47号)がみなさんのお手元に届くころには、異常渇水も解消して、こち良い秋のそよ風が吹いていることと思います。

猛暑の疲れが出ないように、健康には十分気をつけてください。

(編集部副部長 高見新一)



ほん ゆう
凡友

—第47号—
大阪産業大学校友会報

発行日 平成6年10月11日
発行所 大阪産業大学校友会
〒574 大東市中垣内3-1-1
TEL 0720-75-3040(直 通)
0720-75-3001(内線2830)
FAX 0720-75-0398